

記載の器械 三、一方は固定し他方は彈撥的にして互に反對に配置せられたる兩組の導装置か鑄型節片を一直線に且つ金屬閉合的接觸に保存し導装置の一組は鑄型節片の腹背を支へ他組は該鑄型節片の兩側を支ふる様に配置せられたる既記種類の器械 四、導装置の中水冷装置を具へたるものある第三項記載の器械 五、共働鑄型節片を其未だ相接せざる間に互に相平行の位置に置く装置と然る後平行せる鑄型節片を金屬閉合的接觸に持來たす装置と及棒か作られし後平行平面に於て鑄型節片を相離す装置とを有する既記種類の器械 六、横に突出せる軸を兩端に有する鑄型節片と該軸上にありて直徑を異にせる轉輪と（節片の一端の轉輪は其大徑部を軸の外端に具へ節片の他端の轉輪は其小徑部を軸の外端に具ふ）及本器の兩端に在る鑄型節片を平行平面にて相合し或は相離す爲の同心導装置及斜面ある一對の舌とを有する第五項記載の器械 七、移動可能の鑄壺と鑄型に突入し球面接手にて鑄壺に連續せられたる熔融金屬放出管とを具へたる既記種類の器械 八、第七項に記載したる器械に於て一端に於て鑄型内壁と球面接合を有する放出管 九、第一項に記載の器械に於て熔融金屬の容器の排出口を鑄型凹に對し正置する装置 十、器械の兩端に在る齒車上を通過する緩鏈鑄型節片の二箇の無端列により鑄型か形成せられ鑄型節片の前進中は押し進めらるゝ様力を適用し以て鑄型節片か端々相接して金屬閉合的接

商 況

觸を確持する既記階級の器械 十一、器械の終端に於ける齒車か滑動軸受に自在に取附けられ以て膨脹及短縮に差支なからしめたる第十項記載の器械 十二、共同作用する鑄型節片の歩動行列に熔融金屬を注入し金屬を歩動鑄型内に在る間に冷却し然る後鑄型節片を離し金屬か完全に冷固する迄其長さ製品を支持しつゝ運動を繼續せしむる所の金屬を長尺に鑄造する装置 十三、有瓣延長部を具へたる鑄壺と延長部よりの金屬の流出を一定に維持する爲に瓣を開閉する浮とを有する第一項記載の器械 十四、第一項記載の器械に於て鑄型節片の行列か進行する速度を調整する装置

## 商 況

### 海 外 商 況

#### ○米國金物市況

先月に於ける鋼鐵市況の發展は主として戰時品の需要に原因す、兵機の註文は益々増加し新規の大註文日々現はれ生産額も徐々に増加しつゝあり、鋼の半成品は内地需要多く戰爭の目的に使用する鋼線材の需要大なり、同時に製鋼工場の銑鐵需要により製銑工場の發展を來せり。

鋼鐵は品薄を告げ鋼片は工場渡し一噸二六弗にても購入困難なり。

鋼桿、鋼板及び型鋼は正味一噸二七弗の呼値にして鍛鋼片は三五弗以上に上れり、バレー地方高爐の鹽基銑鐵と同地方の平爐鋼片との開きは昨年は一噸につき五弗なりしも今は一一弗に上れり、米國に於ける全製鋼所は平爐轉爐共に其全力にて操業せり、唯コロンバスに於ける小なる轉爐工場の休業せると二三轉爐工場の未だ全力にて操業せざるものあるも此等は寧ろ例外なり。

屑鐵の市場に於ける需要大ならず、鋼片に比して割合に低價なり、全體として輸出品は殆んど戰時品にして中立國の需要は平常以下なり、農具の輸出は半年又は一ヶ年前よりは多量なるも普通よりも餘程少し、工具鋼及び自動車取引は軍需品に於ける如く甚だ活潑なり、間接直接の輸出は年額五百萬噸以上に達すへし。

銑鐵 價格の九月に於ける騰貴は八月の騰貴額の約半分なり、鑄物工場に對して賣行き少く、製鋼工場の買入も二三大口のものを除けば一般に少く九月終りの状態にては消費者は已に本年度分に對する充分の買入を有せり、買手賣手共に來年度の出荷に對する契約を希望せり、此買入は十月又は十一月以前には殆ど行はれざるへし、然るに製鋼所は多量の鋼鐵を製出しつゝあるも銑鐵製造所の産額は其能力よりも可なり少く、休止せる熔鑄爐は期待せられたる如く急速には吹入の機會を見出すを得ず、此期に於けるレーキスピーリオル鑛石の積出は九月一日迄に二六、八〇六、四

二〇噸に達せり、三四年前の同時期に於けるよりは少きも尙ほ今期中には二二、〇〇〇、〇〇〇噸を出すへし、若し此期待か實現せらるゝ時は一ヶ年の總額は從來の記録に殆ど接近すへし、銑鐵呼値次の如し。

二號鑄物フライデルファイヤ渡し	一六・二五—一六・七五 <sup>弗</sup>
同 バファロー熔鑄爐渡し	一五・五〇—一六・〇〇
同 クリーブランド渡し	一五・二五
同 シカゴ熔鑄爐渡し	一四・二五—一四・七五
同 バーミンガム渡し	一一・五〇—一二・五〇
ピッツバーグ地方相場、バレー熔鑄爐渡し。	
ベセマー銑	一六・〇〇 <sup>弗</sup>
ベーシック銑	一五・〇〇
二號鑄物銑	一四・五〇—一五・〇〇
マレアブル銑	一四・五〇—一五・〇〇
グレイフォージ銑	一四・二五—一四・七五

但しピッツバーグ渡しは九五仙高價なり。

鋼鐵 持續せる鋼片の需要は八月に於ては可なり鍛鋼片の需要ありしか尙ほ引き續き多大の需要ありき、鋼片は一般に甚だ品薄にして普通の軟鋼片の呼値は全く一定せず、ヤングスタウン製鋼所の平爐鋼片は二六弗にして直ちに取引せらるへく、轉爐鋼片は直ちに二五弗に達すへし。ピッツバーグにては餘り産出なきを以て同所渡しは一噸に一弗高價なり、薄板用鋼桿は鋼片の價格と同等以上に非されは販

賣せられざるへし、薄板及び鋳力板工場は多くの約定を有し線材の呼値はピッツバーグ渡し三〇弗にして値段の如何に拘はらず賣手無し。

**成形鋼材** 鋼線は九月二十日一噸に二弗騰貴し、米國薄板及び鋳力板會社は九月二十八日ブリュアンニールド及びブラツク薄板は一噸に二弗騰貴し、ブリュアンニールドは一封度一・六仙、ベセマーブラツクは二仙、オープンハースブラツクは二・〇五—二・一仙となれり、鋼桿、鋼板及び型鋼は製鋼工場渡し一・三五仙—一・四〇仙の呼値なり、市價左の如し（但し記載なきはピッツバーグ渡しとす）。

軌條、標準断面のもの工場渡し、  
ベセマー軌條

一・二五  
仙

同 平爐軌條（但コロラドを除く）

一・三四

鋼板、タンク用品質のもの

一・三五—一・四〇

型鋼

一・三五—一・四〇

鋼桿及び帶

一・三五—一・四〇  
一・五〇臺

箍

一・五〇臺

鐵桿、ピッツバーグ渡し

一・四五—一・五〇

同 フイラデルフィヤ渡し

一・五〇九—一・五五九

同 シカゴ渡し

一・三五

薄板（ブリュアンニールド）ゲーツー〇番

一・五五—一・六〇

同（ブラツク）ゲーツー二八番

二・〇〇—二・一〇

亞鉛引薄板ゲージ二八番

三・五〇—三・六〇

ペンキ塗波板ゲージ二八番

二・二〇

亞鉛引波板ゲージ二八番

三・五五—三・六五

鋳力板（百封度に付）

三・一〇—三・二〇

鋼管 $\frac{3}{4}$ 吋（ブラツク） 定價表の

七九%

同 亞鉛引 定價表の

七二%

建築用リベット

一・六〇  
仙

ボイラー用リベット

一・七〇

鐵道用スパイク、ピッツバーグ

一・五〇

同 シカゴ

一・六五

### ○英國金物市況

**銑鐵** 市況は甚た不振にして前途又有望ならず、實際の内地註文は甚た少く多くの取引は戦争の爲め甚た閑散にして請合値段低く、且つ一般に下落の模様あれば投機的取引も制限せられ、品薄と目下運賃騰貴の爲め海外取引は制限せらる、先月に於ける銑鐵の總輸出額は昨年八月の數量を遙かに超過せり但し之は開戰當時のものなれば標準とするを得ざるへし、赤鐵鑛の積出しは一昨年八月に於けるより多量なるも幾分製造額の増加せると、東海岸にては各種混合金品九五志六片を唱へつゝあるとにより、市況は緩漫の傾向あり鑛石の海外取引は平靜にしてルビオ上鑛は船側渡し二七志を強硬に唱へつゝあり、一方骸炭は市況再び緩漫にして熔鑛爐用中等品はミッドルスポロー製鐵所着二五志にて手に入るへし。

滿僱銑 市況は變化甚たしく輸出制限の爲め來月は一層下落すへし、滿僱鑛の輸入は依然少量にして本年度三ヶ月間の合計は昨年同期に於る合計の半數にも及ばず。

半成品 市況強硬にして取引餘り行はれず、米國品の騰貴は米國への新規注文を妨けたるも米國の輸出契約額多く、八月の歐洲向き注文の二割はシカゴにて取結はれたり、昨年八月の僅か四七〇噸なりしに對し先月中にトランス、アトランチック鋼片の輸入は四四、〇〇〇噸に達せり。

亞鉛引板 市況は何等の變動なくゲーヂ二四番は品質により一七磅一〇志―二一磅一〇志の間にあり、海外取引は品拂底にして近く輸出注文の増加を見るへし。

鉄力板 市況は再び稍々緩漫となり一七志九片を報せり一方大工場の二三は取引よく行はれ一八志三片以下にては販賣せられず、市況の繼續的下落は一は錫の下落に起因するも實際は政府か中立國に對し許可を容易に與へざるによる。

軌條 の相場は不變にして何等重要な新規注文の報を聞かず唯印度よりの照會あるのみ。

先月の輸出合計は昨年八月の二三、七二二噸に對し三三、二一九噸に上れり、米國よりの報導によれば露國より尙ほ五萬噸の照會ありしと云ふ。

他の製鋼 に關しては多量の取引行はれず、工場は大部分直接、間接政府筋の注文にて占めらる、價格は一般に昇

騰の傾向あり、各種鐵鋼は今週一〇志騰貴せり。先月に於る各種製鋼の輸出は一昨の二八六、〇〇〇噸に比し二一九、〇〇〇噸なり。

各種金物の市價左表の如し。

材料種別 一九一五年 一九一四年

鐵鑛  
ルビオ(ミッドルスポロー) 二七、〇〇片 二六、〇六片 一九、〇〇片

銑鐵  
三號鑛物銑(ミツドル) 六六、〇三片 六五、〇六片 五一、〇四片

現金渡し  
スコツチ現金渡し(グラス) 六四、一〇・五 六五、〇〇 五一、〇一

ヘマタイト現金渡し(西海岸) 七〇、一〇・五 七〇、〇九 五七、〇一

冷風鑛(サウススタツフォ) 九五、〇〇 九五、〇〇 六六、〇〇

物銑(イドシヤイヤ) 一五、〇〇 一五、〇〇 一三二、〇六

製品  
マーク(サウススタツフォ) 一二、〇〇志片 一二、〇〇志片 九、〇〇志片

ドバー(イドシヤイヤ) 一一、一二、〇六 一一、一二、〇六 八、〇〇、〇〇

普通鋼桿 九、〇二、〇六 九、〇二、〇六 六、一五、〇〇

鋼軌條 一七、一〇、〇〇 一七、一五、〇〇 一四、一〇、〇〇

亞鉛引鐵板 九、一五、〇〇 九、一五、〇〇 七、〇〇、〇〇

造船用山形(ミツドル) 一〇、一〇、〇〇 一〇、一〇、〇〇 六、一七、〇六

山形鋼(グラスゴ) 一〇、〇〇、〇〇 一〇、〇〇、〇〇 七、〇五、〇〇

鋼板(造船用ミツドル) 一〇、〇二、〇六 一〇、〇二、〇六 七、〇二、〇六

同(造船用グラスゴ) 一〇、一五、〇〇 一〇、一五、〇〇 七、一〇、〇〇

同(汽罐用グラスゴ) 一八、〇〇 一八、〇〇 一三、〇三

鉄力板(ベセマ鋼サウ) 一八、〇〇 一八、〇〇 一三、〇三

鐵以外の諸金物九月初旬の代價左の如し。  
銅現物 六七、〇二、〇六片  
錫(イングリッシュ) 一五三、一〇、〇〇

亞鉛(イングリッシュ)  
鉛(イングリッシュ)

七四、一〇、〇〇〇  
二二、一五、〇〇〇

## ○内國商況

●鐵 鐵類は既に需要季節に移りたるに米安の影響を受けて地方筋の商談未だ捗々しからすと雖も、内にありては造船所さては製鐵所等より大口の注文續出し、外よりは露國の軍用注文頻發するに當り、戰亂突發以來世界の注文を一手に引受けて獨占の地位を贏ち得たる米國に於ける相場は暴騰はさらたに前月來棒上げの姿なる我か内地市場を彌か上にも刺戟せり、即ち斯界の中心たる米國の鐵鋼同盟は當十月一日より平、角、丸を通して並インチの數量を縮少し、且つ從來の割増金を引上げ、加之丸棒二吋物以上は約定品の製作に逐はれて新規注文には容易に應し得ざる折柄同盟に加入せざる會社の製品は輸出船腹を得ること不可能となり、今後米國より輸出さるべき鐵材は専ら團體の權勢に依り船腹の遺繰を受くべき特約を掌握せる該同盟加入會社の製品に限定せらるることとなり隨て、輸出鐵材の市價は全く該同盟に左右さるゝ有様となり、而も船腹の不足は積出時期を確答せしむる能はざる爲自然新規注文を差控ゆるの已むなき羽目に陥りぬ、此の如き次第にて米國相場の暴騰せるに當り、内地の市場にありては需要の激増せるに新規輸入の望薄く、就ては在荷激減し、相場一直線に昂騰せ

り、就中釘類は御大典其他にて建築用需要激増して需給の關係著しく權衡を失し、米國相場に比し三圓方も上鞞となり、而も之か輸入は最も早きものにて明春三四月頃なれば年内の品不足は免れざるへしとて思惑さへも大に手傳ひ底意極めて強硬なり、尤も鈦丹類は曩に急激なる暴騰を告げたる揚句にてもあり、且つ需給の關係も相場に均衡を保ち得る見込あるを以て値幅に大なる異動なく、中には却て反動安を告げたるは蓋し當然の成行と申すべきか。

因に十月末の相場を前月末に比較するに、丸釘は一圓九十錢乃至五圓五十錢方、家釘は一圓三十錢乃至六十錢方、丸鐵は二十五錢乃至一圓方(六分は保合)、角鐵は四十錢乃至九十錢方、平鐵は一分物一圓乃至一圓三十錢方(八分以上保合)、二分物八十錢乃至一圓二十錢方、三分物五十錢乃至一圓五十錢方、四分物五十錢乃至七十錢方、五分物五十錢乃至八十錢方、鐵板は三六物十錢乃至七十錢方(十枚以上保合)、同シーメンズ二十錢乃至七十錢方、四八物三十錢乃至一圓五十錢方、鈦丹引線は二十錢乃至一圓方の騰貴なるか、鈦丹引平板に至りては逆に二十錢方、同生子板は二十錢方の低落を示したり。

●銑鐵 時は恰も一般に需要季節に入りたるに當り軍器下受に對する旋盤の不足を補ふべく俄に之か製作に取掛らんとする向きの需要あり、且は在荷薄と相俟ちてレットカーは又もや月初以來中旬までに五六十錢高の中割百貫に付き

十八圓三十錢となり東洋銑鐵も亦同じき鞞開きにて十六圓を唱へ高見越の風情となれり。

●銅 倫敦市場に於ける銅先物相場は前月末に比し一磅高の七十四磅に生れたるもの、五六の兩日には各一磅宛下押し、十二日に七十四磅五志まで戻したるを絶頂に二、三磅臺を小高下して終に七十三磅十志に打留めたり、相場の中心は例に依りて聯合軍の戦況如何にありと雖も六十七磅五志の底値を示したる前月二十六日以前の大保合相場に比し三、五磅方の上鞞なるは蓋し米國アリゾナ州の一部に於ける銅山工夫の同盟罷工か與りて大なる原動力たりしこと明かなり内地の市場を顧るに倫敦相場の崩落に因りて前月來折角に釣上げたる地銅か七日には五十錢方氣挫けて四十一圓五十錢と下押したるか矢張り外電の吉報を受けて十二日には五十錢方引戻し、倫敦相場に比し荒銅は四圓方、電氣銅は一二圓方の上鞞を示してより腰硬く十四日までに四十五圓五十錢とまで漕付けたり然るに又々倫敦の凶報を入れて十五日には五、七十錢方、十九日には更に五十錢方も引緩みたるか人氣は一般に先高を見越して無碍に下げ兼ねたる風情なり。

●錫 前月以來久しく軟弱に保合ひたるか流石は季節向きのものなるに本國の高相場を耳にして二十日に至り俄然二圓方の暴騰を告げたり。

●鉛 引續き軍需品の註文に押されて漸く品拂底とならん

とし相場は上騰の步調なるに當り二十二日以來は濠洲、米國香港の各地より暴騰の入電頻々として到來せる爲め一段と引締り中にも米國物は早くも品切を告げ相場は月初に比すれば一圓五、八十錢方の昂騰なり。

●亞鉛 久しく保合ひ而も稍々頭重き風情なりしも何様輸入は杜絶せるに大口の註文か又々陸軍方面より突發せる爲め下旬に入りては品薄を唱へて減切り引締り月初に比し相場一、二圓乃至五、六圓方の暴騰なり。

●安質母尼 硫化安質母尼は産地より集散地に至る運搬機關に故障を生したる趣にて入荷皆無となり隨て市中の在荷減退の一方となりたれば當月を通して實に八圓方も奔騰せり之に連れて多くは一、二圓乃至五、七圓方昂騰せり。



○相場表

(特記せるものは外は  
總て十一月十七日調)

銑 鐵 (十一月十二日調)

東京 水橋 商店

一噸に付

釜石木炭壹號銑	六八
同 貳號銑	六三
同 參號銑	五八
釜石再製銑	八五
釜石骸炭壹號銑	五三
同 貳號銑	四八
同 參號銑	四一
釜石小割銑	四三
同 滿俺鐵	二六〇
同 純白銑	八五
同 半白銑	五五
コークス	
吹入一噸に付	
舶來シヤムロツク、コークス	四八
同ヒーセス、コークス	四五
ピンシヤン、コークス	二六
釜石コークス	二六
古河最上等コークス	二八
古河上等コークス	二五
古河一號コークス	二〇

丸 鐵

東京 森岡 商店

十貫目

新瑞西	九・五〇
一分五厘	九・五〇
二分	九・五〇
二分半	九・五〇
三分	九・二〇
四分	九・〇〇
五分	九・五〇
六分	九・五〇
七分	九・八〇
八分	九・八〇
九分	八・五〇
一寸	九・〇〇
一寸二	九・〇〇
一寸四	九・五〇
一寸六	九・五〇
一寸八	一・〇〇
二寸	一・〇〇
二寸四	一・〇〇
二寸八	一・〇〇

角 鐵

(同)

十貫目

新瑞西	八・五〇
一分五厘	八・五〇
二分	八・八〇
二分五厘	八・八〇

平 鐵

(同)

十貫目

三分	八・三〇
四分	八・七〇
五分	八・五〇
六分	八・五〇
七分	八・五〇
八分	八・五〇
九分	八・五〇
一寸	九・八〇
一寸二	九・八〇
一寸四	九・八〇
一寸六	一・〇〇
一寸八	一・〇〇
二寸	一・〇〇
二寸四	一・〇〇
二寸八	一・〇〇
新瑞西	九・五〇
一分厚	九・五〇
三分	九・二〇
四分	九・二〇
五分	九・二〇
六分	九・二〇
七分	九・二〇
一寸	九・二〇
一寸二	八・五〇
一寸四	八・五〇
一寸六	八・五〇
一寸八	八・五〇
二寸	八・五〇
二寸四	八・五〇
二寸八	八・五〇

三分厚

四分厚

三分	八・八〇
四分	八・八〇
五分	八・八〇
六分	八・八〇
七分	八・八〇
八分	八・八〇
一寸	八・八〇
一寸二	八・八〇
一寸四	八・八〇
一寸六	八・八〇
一寸八	八・八〇
二寸	八・八〇
二寸四	八・八〇
二寸八	八・八〇
新瑞西	八・八〇
三分厚	八・八〇
四分	九・〇〇
五分	九・〇〇
六分	九・〇〇
七分	九・〇〇
八分	九・〇〇
一寸	九・〇〇
一寸二	九・〇〇
一寸四	八・五〇
一寸六	八・五〇
一寸八	八・五〇
二寸	八・五〇
二寸四	八・五〇
二寸八	八・五〇

商 况

一〇七五

鐵と鋼

寸六	八・五〇	寸六	八・五〇
二寸	九・五〇	二寸	八・五〇
二四	八・五〇	二四	七・五〇
二八	七・五〇	二八	七・五〇
五分厚		五分厚	
六分	七・五〇	六分	七・五〇
七分	七・五〇	七分	七・五〇
八分	七・八〇	八分	七・八〇
一寸	七・八〇	一寸	七・八〇
寸二	八・五〇	寸二	八・五〇
寸四	八・七〇	寸四	八・七〇
寸六	九・〇〇	寸六	九・〇〇
二寸	八・五〇	二寸	八・五〇
二四	七・五〇	二四	七・五〇
二八	七・五〇	二八	七・五〇
三二	七・五〇	三二	七・五〇
鐵板 (三六物)(同)		鐵板 (三六物)(同)	
十貫目		十貫目	
五厘	八・五〇	五厘	八・五〇
八厘	八・二〇	八厘	八・二〇
一分	九・〇〇	一分	九・〇〇
三入	八・五〇	三入	八・五〇
四入	八・二〇	四入	八・二〇
五入	九・〇〇	五入	九・〇〇
六入	九・五〇	六入	九・五〇
七入	九・二〇	七入	九・二〇
八入	九・〇〇	八入	九・〇〇
九入	九・〇〇	九入	九・〇〇
十入	九・〇〇	十入	九・〇〇
十一入		十一入	
十二入		十二入	
一枚代		一枚代	

第九號

十三入	七・二〇	九釘 (同)	
十六貫目	壹樽	十六貫目	壹樽
六分	一五・五〇	六分	一五・五〇
七分	一六・〇〇	七分	一六・〇〇
八分	一八・〇〇	八分	一八・〇〇
一寸	一七・五〇	一寸	一七・五〇
寸二	一六・五〇	寸二	一六・五〇
寸四	一七・五〇	寸四	一七・五〇
13寸六	一七・五〇	13寸六	一七・五〇
12寸六	一六・五〇	12寸六	一六・五〇
12寸二	一六・五〇	12寸二	一六・五〇
11寸二	一四・八〇	11寸二	一四・八〇
二四	一四・五〇	二四	一四・五〇
二八	一三・〇〇	二八	一三・〇〇
三二	一三・〇〇	三二	一三・〇〇
三六	一四・五〇	三六	一四・五〇
四寸	一三・八〇	四寸	一三・八〇
五寸	一五・五〇	五寸	一五・五〇
家根釘		家根釘	
二八	一五・五〇	二八	一五・五〇
三二	一五・五〇	三二	一五・五〇
亞鉛引線		亞鉛引線	
東京野崎商店		東京野崎商店	
十貫目		十貫目	
五番	九・七〇	五番	九・七〇
六番	九・七〇	六番	九・七〇
七番	九・七〇	七番	九・七〇
八番	九・七〇	八番	九・七〇
九番	九・七〇	九番	九・七〇

鐵線 (同)

十番	九・七〇	鐵線 (同)	
十一番	九・七〇	鐵線 (同)	
十二番	九・七〇	鐵線 (同)	
十三番	一〇・二〇	鐵線 (同)	
十四番	一〇・二〇	鐵線 (同)	
十五番	一〇・七〇	鐵線 (同)	
十六番	一一・八〇	鐵線 (同)	
十七番	一二・〇〇	鐵線 (同)	
十八番	一二・八〇	鐵線 (同)	
十九番	一二・八〇	鐵線 (同)	
二十番	一四・二〇	鐵線 (同)	
二十一番	一五・〇〇	鐵線 (同)	
二十二番	一六・七〇	鐵線 (同)	
二十三番	一六・七〇	鐵線 (同)	
一	八・〇〇	鐵線 (同)	
二	八・〇〇	鐵線 (同)	
三	八・〇〇	鐵線 (同)	
四	八・〇〇	鐵線 (同)	
五	八・〇〇	鐵線 (同)	
六	八・〇〇	鐵線 (同)	
七	八・〇〇	鐵線 (同)	
八	八・〇〇	鐵線 (同)	
九	八・〇〇	鐵線 (同)	
十	八・三〇	鐵線 (同)	
十一	八・三〇	鐵線 (同)	
十二	八・五〇	鐵線 (同)	
十三	八・六〇	鐵線 (同)	
十四	八・八〇	鐵線 (同)	
十五	九・〇〇	鐵線 (同)	

一〇七六

十六番	一〇・〇〇
十七番	一〇・五〇
十八番	一一・〇〇
十九番	一二・〇〇
二十番	一三・五〇
廿一番	一三・五〇
廿二番	一五・〇〇
廿三番	一五・〇〇
廿四番	一五・〇〇
廿五番	一五・〇〇

電信電話用亞鉛鍍鐵線

油引	十貫目二付	東京青木商店
四〇〇磅(鐵線)	九・六〇	
貳〇〇磅(鐵線)	一〇・一〇	
壹〇〇磅(鐵線)	一〇・一〇	
六〇磅(鐵線)	一三・一〇	
三〇磅(鐵線)	一四・一〇	
同上用鋼線	一七・一〇	
一七〇磅(鋼線)	一五・一〇	
鐵條鋼トゲ付針金	一五・〇〇	
一九二付	一五・〇〇	

鋼線 スプリング用

東京青木商店	
十貫目	
〇番	一七・二〇
一番	一七・二〇
二番	一七・二〇
三番	一七・二〇



四番	一七・二〇
五番	一七・二〇
六番	一七・二〇
七番	一七・二〇
八番	一七・二〇
九番	一七・二〇
十番	一七・二〇
十一番	一七・二〇
十二番	一七・二〇
十三番	一七・二〇
十四番	一七・二〇
十五番	一七・二〇
十六番	一八・二〇
十七番	一八・二〇
十八番	一八・二〇
十九番	二〇・二〇
廿番	二二・二〇
廿一番	二二・二〇
廿二番	二四・二〇
廿三番	二六・二〇
レール(十一月十二日調)	
東京 水橋 商店	
(附層品共二哩ニ付)	
中古九封度レール	二、〇〇〇
九封度レール	二、三〇〇
中古拾二封度レール	二、五〇〇
拾二封度レール	二、九〇〇
拾六封度レール	三、六〇〇
拾八封度レール	三、八〇〇
貳拾封度レール	四、五〇〇

廿五封度レール	五、五〇〇
參拾封度レール	五、九〇〇
四拾五封度レール	七、九〇〇
車輪(砲金メタル付、一臺ニ付)	
チルド車輪九吋	一〇
チルド車輪十吋	一二
チルド車輪十二吋	一三
和玉鋼(十一月十三日調)	
安來 松浦彌商店	
十貫目	
世界一印	一六・〇〇
□天印	一二・〇〇
□久印	八・〇〇
□撰印	一六・五〇
□天印	一一・五〇
□刃印	七・〇〇
以下六圓ヨリ三圓迄	
洋鋼 東京 河合 商店	
十貫目	
▲バイト用	
東郷貳號丸角	二七・〇〇
同 平	二五・〇〇
東郷〇號丸角	七五・〇〇
黒紙金東郷バイスビード丸角	二〇〇・〇〇
▲道具用	
秤印丸角	九・五〇
青紙蝠蝠丸角	一二・〇〇
蟲丸角八角	一六・〇〇
秤印平鋼	九・五〇

東郷金床用	一四・〇〇
▲鑢山用	
梅青紙	八・五〇
旗青紙	一〇・〇〇
白紙蝠蝠中空鋼	三〇・〇〇
兜青紙	一一・〇〇
▲鋸 用	
兜赤紙平壹分厚	九・八〇
樽六尺物	一四・〇〇
鷄白紙平一分厚	九・五〇
東郷黃紙平一分	二〇・〇〇
同青紙前挽用	九・〇〇
東郷白紙前挽用	二〇・〇〇
▲撥條 用	
秘印平鋼	六・五〇
電車印赤紙平	八・五〇
瓦斯管 東京 梅岡己之助	
舶來一尺	五・五
二 分	七・〇
三 分	一〇・〇
四 分	一五・〇
五 分	一一・〇
六 分	一七・五
一 吋	二二・〇
一吋四分一	二八・〇
一吋二分一	三七・〇
二 吋	五五・〇
二吋二分一	七〇・〇
三 吋	八〇・〇
三吋二分一	

四 吋	九・〇〇
五 吋	一〇・〇〇
六 吋	一三・五〇
引拔鋼管	
(十一月二十二日調)	
日本鋼管株式會社	
瓦斯管 (繼目ナシ引拔)	
公稱内徑 壹呎ニ付	
壹 吋	一八・九
壹吋四分ノ一	二二・一
壹吋貳分ノ一	二六・三
壹吋四分ノ三	三二・六
貳 吋	三五・七
貳吋四分ノ一	四六・二
貳吋貳分ノ一	五〇・四
貳吋四分ノ三	五四・六
參 吋	五八・八
參吋二分ノ一	七〇・四
四 吋	七九・八
四吋二分ノ一	九四・五
五 吋	九九・八
六 吋	一四七・〇
フラン管 (繼目ナシ引拔)	
外徑 壹呎ニ付	
貳 吋	三〇・九
貳吋貳分	三五・一
貳吋半	四三・四
貳吋六分	四八・〇
一〇七七	

參 時	五二・五	參 時	六八・七
參時二分	六二・七	貳 時	八八・四
參時半	六七・八	貳時半	九八・三
四 時	八七・三	貳時六分	一〇八・〇
五 時	一二一・七	參 時	一一七・九
六 時	一六一・一	參時二分	一二二・〇
スチール管 壹呎ニ付		參時四分	一四四・三
外徑 貳分厚		四 時	一五六・六
		右ノ外各種特製管賣價ハ其時ノ協議ニ依ル	一八一・一
		亞鉛 東京 竹内 商店	
		百斤ニ付	
		BHP 亞鉛	六二・〇
		ホウヘンロー	六五・〇
		MMG 一號	五八・〇
		同 二號	五五・〇
		地流亞上	五五・〇
		同 中	五三・〇
		支那產淨鉛	五四・五

錫 同上	一〇六・〇	鉛 同上	
百斤ニ付	一〇七・〇	濠洲生子鉛	一八・六
丁 錫	一〇四・〇	舶來同棹鉛	一八・六
折 錫	一〇二・〇	MMK	一八・〇
同中興一號	一〇〇・〇	上等棹鉛	一八・〇
二號	一〇〇・〇	KE生子鉛	品切
三號	一〇〇・〇	地 銅 大阪 佐渡島商店	
		百斤ニ付	
		九九五型銅	五〇・〇
		九九並丁銅	五〇・〇
		電氣銅	五四・〇
		延地丁銅	五二・〇
		長棹銅	五二・五
		小棹銅一貫目	三・三五
		艷小棹同	三・八

統計

●獨逸の最近製鐵統計 獨逸鐵鋼製造業組合報告

に據れば、同國の銑鐵製出量は本年五月には九十八萬五千九百六十八噸、同六月には九十九萬三千四百九十六噸に上れりと云ふ、今開戰の前後に互る生産額を比較せんか爲め、一昨年上半期より本年上半期に至る二ヶ年半の間に於ける、毎月の製出量を擧ぐれば左の如し。

一月	千九百十三年	千九百十四年	千九百十五年
二月	一、六二一、三四五	一、五六六、六九五	八七四、一三三
三月	一、四九三、八七七	一、四四五、六七〇	八〇三、六三三
四月	一、六二九、四六三	一、六〇二、八九六	九三八、四三八
五月	一、五八八、七〇一	一、五三四、四三九	九三八、六七九
六月	一、六四三、〇六九	一、六〇七、三二一	九八五、九六八
七月	一、六〇九、七四八	一、五三一、三三三	九九三、四九六
八月	一、六四八、八二八	一、五六一、九四四	五、五三四、三三七
九月	一、六四〇、〇一六	一、五六六、六六一	
十月	一、五九〇、八四九	一、五八〇、〇八七	
十一月	一、五九〇、八四九	一、五九〇、八四九	
十二月	一、五八八、九八五	一、五八八、九八五	
小計	九、五七六、二〇三	九、二八八、二四四	
十二月	一、六二一、三五〇	八五四、一八六	